

『多様化するジェンダー・アイデンティティと日本社会』

近年、LGBTの人びとが有する権利への関心が高まり、社会問題への早急な取り組みが求められています。LGBTQと表記されることもあります。Qとは何かご存知でしょうか。Qは、クイア（Queer）あるいはクエスチョニング（Questioning）などの頭文字をとったもので、「男／女」、「異性愛／同性愛」といった二元論で自己像を規定しない人たちのことを指します。本講演では、特にジェンダーに焦点を当て、自分の性自認を男性とも女性とも決めかねる人たちの自己像の特徴についてお話し、日本社会を構造づけている男女二元論を問うこととします。

日時：2018年11月6日(火) 10:30～12:00

会場：総合科学部K棟110講義室

対象：本学教職員，大学院生，学部生，一般の方

※本講演会は総合科学部専門教育科目『学問とジェンダー』の講義の一環ですが、この日のみどなたでも受講できます。

講師：石井 由香理（いしい ゆかり）
東洋大学社会学部社会学科 助教

【プロフィール】

首都大学東京大学院博士後期課程単位取得退学，博士（社会学）。
日本学術振興会特別研究員（PD）等を経て、2017年より東洋大学社会学科助教。
専門は、ジェンダー、セクシュアリティ、障がい学。
著書に『トランスジェンダーと現代社会』（2018年明石書店）がある。



主催：広島大学男女共同参画推進室

共催：広島大学ダイバーシティ研究センター

【申込み・問合せ先】広島大学男女共同参画推進室 担当：三木，岡本

Tel：082-424-4428 Fax：082-424-4355

E-mail：syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp

URL：https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender （Web申込）

※上記URL男女共同参画推進室のHPの「お知らせ」に掲載している申込フォームから事前Web申込をお願いします。
当日参加可。